

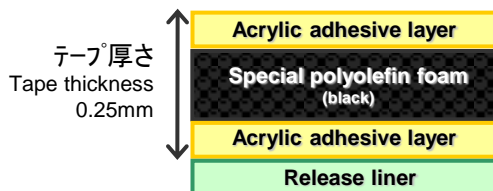
薄型発泡体基材両面接着テープ / Thin type Foam Based Double Coated Adhesive Tape

**NEW**

## DIC #84025SP

**DAITAC #84025SPは、「防水性」を維持しながら、「プッシュ強度」と「耐衝撃性」を向上させた開発品です。**  
**DAITAC #84025SP is special grade of 'push strength' and 'impact resistance'.**

### 構成 / Construction



### 特徴 / Characteristics

- ◆ 落下衝撃耐性に優れます。 / Excellent high impact resistance
- ◆ 形状追従性に優れます。 / Good adhesion to rough surface
- ◆ 加工性や貼り作業性に優れます。 / Good workability for die-cut and lamination
- ◆ 貼付後のリワーク性に優れます。 / Easily-removable
- ◆ 強接着性を有し、耐ハガレ性に優れます。 / Excellent adhesion and durability

### 用途 / Applications

携帯電話、タブレット型端末、デジカメなど、電子機器等の防水が必要な箇所の接合  
 For water-proof equipments such as mobile phone, tablet PC, and digital camera  
 金属、ガラスパネル、樹脂筐体などの剛体部材同士の接着固定  
 For fixing rigid materials such as reinforced plastic, metal, and glass panel

### 粘着物性 / Properties

		単位 Unit	#84025SP
テープ厚さ Tape thickness		[μm]	250
接着力 Peel strength (Conform to JIS Z0237)	SUS (ヘアライン)	[N/20mm]	16.0
	ABS		15.0
プッシュ強度 Push adhesive strength (DIC method)	ABS	[N/4cm <sup>2</sup> ]	150
保持力 Holding power (Conform to JIS Z0237)	70°C 500g/4cm <sup>2</sup>	[hour]	24<
耐衝撃性 Impact resistance (DIC -従来法)	ABS 荷重: 300g	高さ Height [cm]	100<
防水性 Waterproof (Conform to JIS C0920, IPX7)	平滑面	水深1mに 30分静置後の 浸水の有無	浸水なし Good
	凸凹面 (30μm)		浸水なし Good

**ご注意:** 本検討品は芯材に発泡体を用いております。発泡体の製法上、比較的大きな気泡(ホド)を含む場合があります。加工品にホドが混入する場合、防水性能が低下する恐れがございます。防水用途の場合は要求特性をご確認の上、御使用されるようお願い申し上げます。

### サイズ / Size

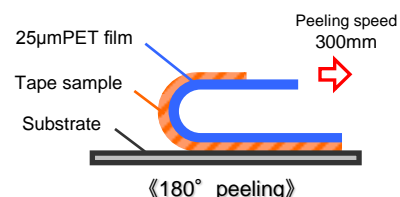
担当営業にお気軽にお問い合わせ下さい。  
 Please ask our staff

【試験方法 / Test method】

## □ 接着力

[単位: N/20mm]

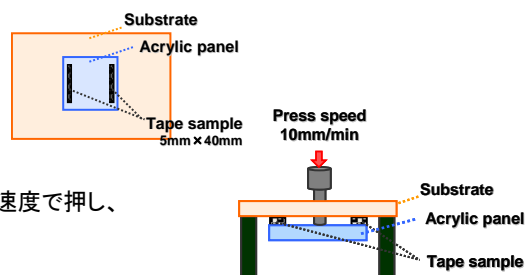
- 20mm幅の両面テープを常温(23°C50%RH)下で被着体(SUS板またはABS板)に、2kgローラー1往復で加圧貼付する。
- 1時間後、常温下で180°方向に300mm/分で引き剥がして測定した。



## □ フツシ強度

[単位: t/N/4cm<sup>2</sup>]

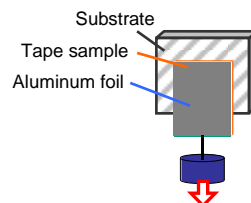
- 両面テープ(5mm×40mm)を、2mm厚×50mm×50mmの亚克力板の2辺へ平行に貼付する。
- 両面テープ付き亚克力板を、100mm×150mmのABS板に、テープが貼られた辺が、被着体の短い辺と平行になるように貼付し、2kgローラー1往復で加圧貼付した。
- 23°C50%RHで1時間または24時間放置したのち、23°C50%RH下で被着体の穴から亚克力板をプローブで10mm/分の速度で押し、亚克力板が剥がれる際の強度を測定した。



## □ 保持力

[単位: hour]

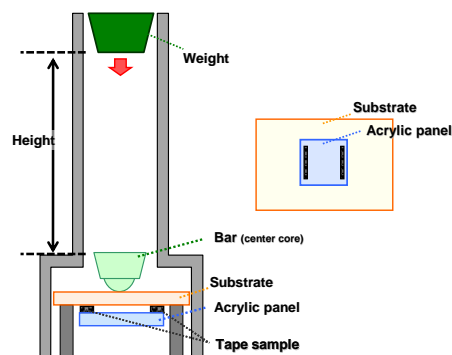
- アルミ箔で裏打ちした両面テープを、常温下でステンレス板に貼付面積が20mm×20mmになるように2kgローラー1往復で加圧貼付する。
- 70°C雰囲気下にて1時間放置後、70°C下で0.5kgの荷重をかけ、落下するまでの時間を測定した。  
なお、24時間以上保持した場合は「24<」とした。



## □ 耐衝撃性

[単位: (高さ) cm]

- 両面テープ(5mm×40mm)を、5cm角の亚克力板の2辺へ平行に貼付する。
- ①を10cm×15cmのABS板に貼付し、2kgローラー1往復で加圧貼付した。
- 常温で1時間放置後、所定の環境下(23°Cまたは0°C)で、試験片をデュボン式衝撃試験機に装着し、ABS板側から直径25mmの半球状撃芯を介して、300gの衝撃荷重を高さ30cmから5回連続で落下させた時の亚克力板の脱落の有無を評価する。脱落なしの場合は、落下高さを10cmずつ上げて測定を続行し、亚克力板が脱落する高さ(単位: cm)を求めた。



## □ 防水性

- 2mm厚×67mm×47mmの亚克力板に、外寸64mm×43mm、窓枠幅2mmの両面テープを貼付した。これに、表面に高さ20µm、30µmまたは50µmの段差を2本つけた2mm厚亚克力板の上に乗せ、貼り合せた。
- ①を2kgローラー1往復で加圧貼付した。23°C、水深1mに30分静置後に、窓枠内への浸水の有無を目視で評価した。(JIS C0920 IPX7 準拠)

